

普及情報

分類名[草地飼料]

エンバク奨励品種「はえいぶき」

畜産試験場

1 取り上げた理由

飼料用トウモロコシの減収等により，来春までの粗飼料が不足する場合，エンバクを播種することにより，年内の収穫が可能である。

市販されているエンバクの中から，畜産試験場において夏播きで栽培試験を行った結果，成績優秀であった品種を奨励品種とする。

2 普及情報

1) はえいぶき(全農・タキイ種苗)

- ・ 早晚性は極早生であり，標準品種のウエスト(極早生)より出穂は早い。
- ・ 生育日数が短く，収量は標準品種よりも多い。
- ・ 耐倒伏性は標準品種並みでやや弱く，耐病性はやや強い。

3 利用上の注意点

- 1) は種時期は8月末から9月上旬までに行う。
- 2) 播種時期が遅れると低収となる。
- 3) 出穂前では硝酸態窒素濃度が高いため，出穂後に刈り取る。

(問合せ先：畜産試験場草地飼料部 電話 0229-72-3101)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

飼料作物・牧草適応品種の選定 エンバク（平成14年～16年）

2) 参考データ

表1 生育特性

品 種	発芽良否	初期生育	発芽・出穂始	倒伏程度	草丈(注3)
	(1-9)(注1)	(1-9)(注1)	日 数	(1-9)(注2)	(cm)
はえいぶき	4.9	5.2	49	3.7	93
刈刈(標準)	5.0	5.0	58	3.7	93

(注1) 発芽良否, 初期生育は極良を9, 極不良を1とする評点法。

(注2) 被害程度と被害面積に応じて無を1, 甚を9とする評点法。

(注3) 収量調査時に調査。

(注4) 発芽良否, 初期生育は H15-16(2年)の平均, それ以外は H14-16(3年)の平均。

表2 耐病性

品 種	病 害 程 度 (1-9)		
	レッドリーフ	葉枯病	冠さび病
はえいぶき	1.1	1.0	1.1
刈刈(標準)	1.4	2.0	1.0

(注) 被害程度と被害面積に応じて無を1, 甚を9とする評点法。

表3 収量性

品 種	生草収量 (kg/10a)	乾物率 (%)	乾物収量	
			(kg/10a)	標準対比(%)
はえいぶき	3782	14.9	561	126
刈刈(標準)	3283	13.4	448	

(注) H14-16(3年)の平均。

3) 発表論文等 なし